

 <p>FIELD WORK</p> <p>宮前区の特産や課題を知り、体験頂くことを目的としたフィールドワークです。</p>	 <p>IDETHON</p> <p>特定のテーマについてチームごとにアイデアを出し合う参加型のイベントです。</p>	 <p>HACKATHON</p> <p>IT技術者等が特定のテーマに沿ってアプリケーションやサービスを開発するイベントです。</p>	 <p>MARKETHON</p> <p>マーケティングとマラソンを合わせたオリジナルの企画です。ハッカソンで生み出されたアプリケーションの実用化に向けたマーケティングや販及方策の検討等を行います。</p>
	<p>G 空間未来デザイン</p>		



2015.01.22@二子玉川ライズ・カタリストBA
プレマーケソン

地域課題を
解決するための
地理空間
オープンデータを
用いたマーカーソン



2015年2月20日(金)終日@宮前区役所 2月21日(土)@終日@川崎市役所

主催：慶應義塾大学大学院 システムデザイン・マネジメント研究科

共催：国際大学グローバル・コミュニケーション・センター（GLOCOM）

株式会社フューチャーセッションズ

まで、あと1ヶ月程度

プレ

2

今日は、マーケティング

プレマーケソン2の目的

- 1.ハッカソンのフォローアップおよびマーケソンに向けての議論を行うための方法などについてお伝えし、マーケソンに向けた各チームの活動をサポートすること
- 2.それぞれのプロトタイプについて、実用化を念頭に想定カスタマーに対するマーケソンへの参加を依頼、募集するためのチラシなどの告知資料を完成させること

ポイント

1. どうすれば、それぞれのアプリケーション・サービスのプロトタイプが地域課題に実際に役立つようになるかをチームを超えて、議論しましょう！
2. 場合によっては、複数のチームが連携、統合した方が良いアプリケーション・サービスを実現できるかもしれません。そのことも念頭に入れてみてください。
3. マーケソン開催までの間に、主催者ならびに川崎市、宮前区の皆様で、各チームへの人や企業、組織の紹介、支援事業の紹介などできる限りの支援を致します。
4. そのために、G空間未来デザインプロジェクト参加者の皆様、そして、チームごとに、目指したいゴールとそれを達成するための計画を立案して下さい。

プレマーケソン2プログラム

- 18:00-18:10 イントロダクション・ハッカソンの振り返り
- 18:10-18:17 マーケソンについて（筈）
- 18:17-18:24 アプリケーション・サービス実現のシナリオ（庄司）
- 18:24-18:30 アプリケーション・サービス実現のために考えるべきこと
- 18:30-19:00 各チームのチャレンジ・課題の共有：ワールドカフェ
- 19:00-19:30 マーケソンに向けたプラン、チラシ作成：グループワーク
 （休憩）
- 19:40-20:10 プラン、チラシのシェア（2分発表+2分Q&A×9チーム）
- 20:10-20:30 全体討議・まとめ

- 21:00-23:00 （有志による）懇親会（プレマーケソン3？）
 たまゆら（幹事：中島さん）



地図を印刷する

地図をケータイ・スマホで見る



このページを印刷する



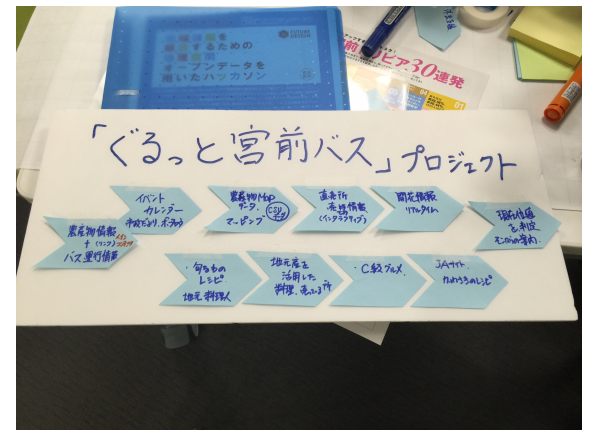
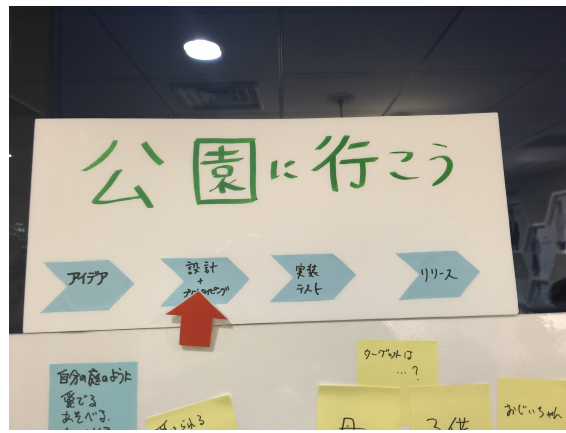
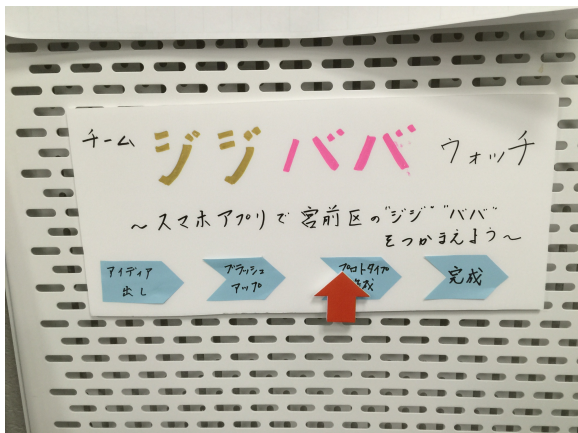
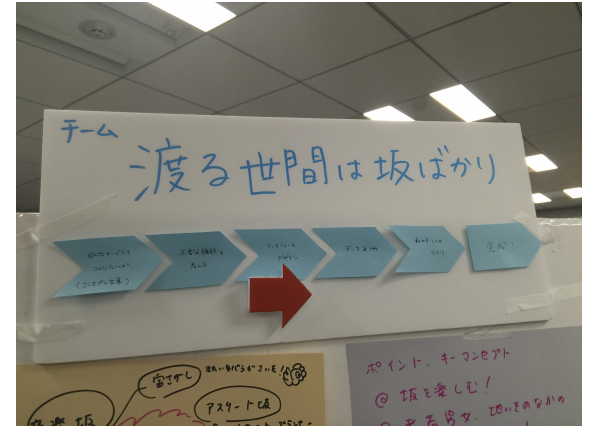
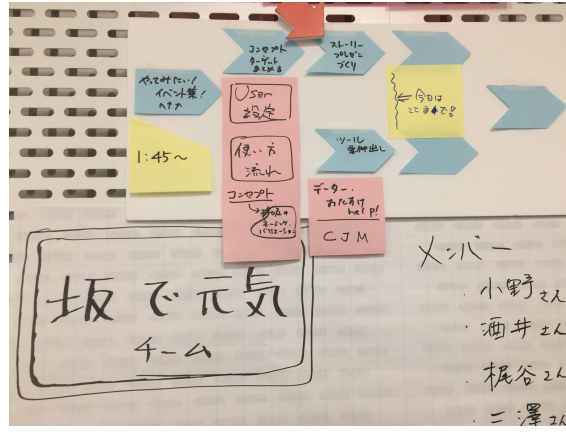
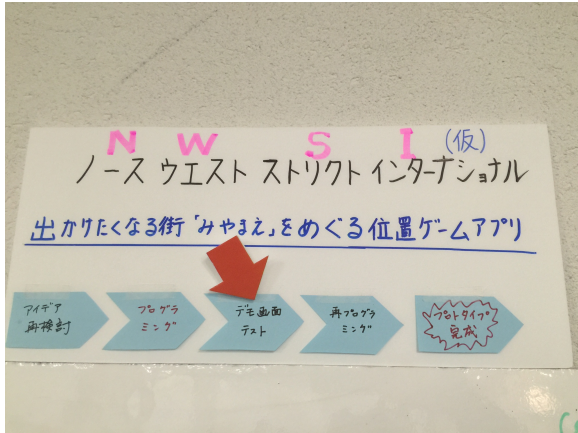
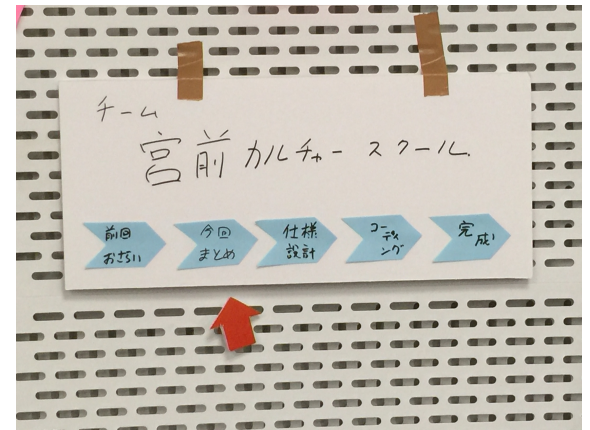
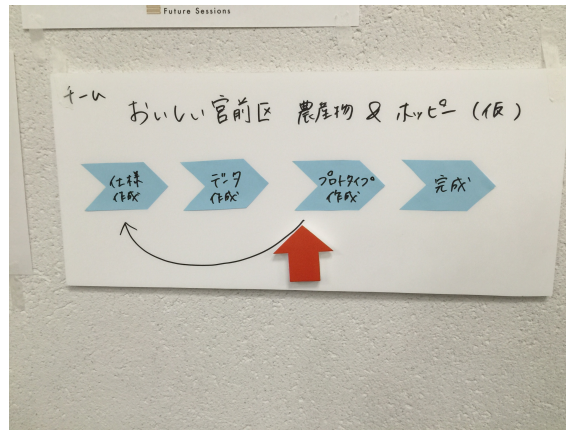
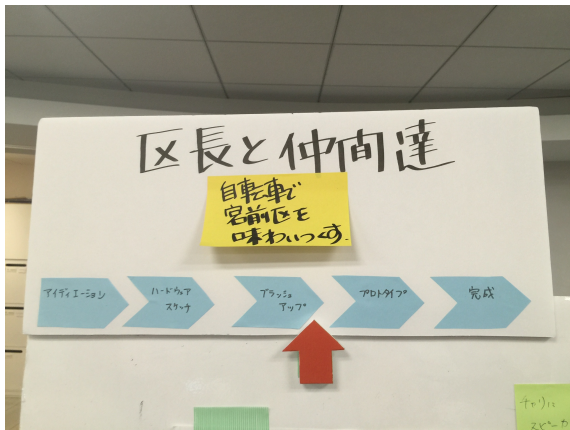
このページのURLを送る



天然魚と食彩 たまゆら 基本情報

店名	天然魚と食彩 たまゆら デンネンザカナトシヨクサイタマユラ
電話番号	050-5799-7207 お問い合わせの際はぐるなびを見たというスムーズです。 ▶ ネット予約はこちらから
住所	〒158-0094 東京都世田谷区玉川2-24-7 萩原第2ビル3F

ハッカソンの振り返り



お願い

 **G-OUR FUTURES**に登録お願いします

 <http://goo.gl/AnMZJc>

企業管理 | Naohiko Kohtake | ログアウト

G-OUR FUTURES

一マに関心があれば、ぜひ参加してください。

詳細説明

本ハッカソンは、「G空間未来デザイン」プロジェクトの一環で行われています。
<https://www.ourfutures.net/groups/26>

※地理空間オープンデータ
日常生活や経済活動に欠かせない位置や時間に関連する情報を「G空間情報」または「地理空間情報」と呼びます。また、何らかの権利に基づく制限を課されることなく、誰でも自由に入手、加工、利用、再配布などができるよう公開されたデータを「オープンデータ」と呼びます。地理空間情報をオープンデータとして整備、公開することで、まちづくりや防災、ビジネス、インターネットサービスへの幅広い利活用が見込まれています。

※ハッカソン
ハッカソンはハック（Hack）とマラソンを合わせた造語で、IT 技術者やデザイナーなどが特定のテーマに沿ってアプリケーションやサービスを開発するイベントです。

添付ファイル

-  [20141215G-OFSマニュアル.pdf](#)
14/12/21 09:59 にアップロードされました
-  [20141220G空間未来デザインデータカタログ.pptx](#)
14/12/20 13:29 にアップロードされました
-  [20141220体験スケッチボード紹介.pdf](#)
14/12/20 13:54 にアップロードされました

参加者

(28)

-  Naohiko Kohtake
-  Dainichiro Kakei
-  Eri Inoue
-  Shoichi Otomo
-  Masahiko Shoji
-  Madoka Nakajima
-  Takahiko Nomura
-  Hiroyuki Tanaka
-  竹内 久知
-  水津 功

お願い

Facebookやってます

GFutureDesign

Facebook GFutureDesign

Facebookページ | アクティビティ 2 | インサイト | 設定 | ファン数を増やす | ヘルプ

FIELD WORK
宮前区の特徴や課題を知り、体感頂くことを目的としたフィールドワークです。

IDEATHON
特定のテーマについてチームごとにアイデアを出し合う参加型のイベントです。

HACKATHON
IT技術者等が特定のテーマに沿ってアプリケーションやサービスを開発するイベントです。

MARKETHON
マーケティングとマラソンを合わせたオリジナルの企画です。ハッカソンで生み出されたアプリケーションの実用化に向けたマーケティングや書及方策の検討等を行います。

G 空間未来デザイン

FUTURE DESIGN GFutureDesign コミュニティ

「いいね!」しています | フォロー中 | メッセージ

タイムライン | 基本データ | 写真 | いいね! | もっと見る

ユーザー > | 近況 | 写真・動画 | イベント、大事な出来事など

いいね! 38件

庄司 昌彦さん、Yuta Uwaiさん、他11人が「いいね!」と言っています。

最近どんなことがあった?

GFutureDesign 神武 直彦さんの投稿 [?] · 数秒前

ハッカソン2日目、始まりました! - 場所: カタリストBA

今週 25 ページのいいね!
40 投稿のリーチ
未読
2 お知らせ
0 メッセージ

最近 2014年

広告でページを宣伝

GFutureDesign ハッカソン2日目、始まりました!
投稿の広告を出す

はじめるときに終わりを考える



「十分に終わりのことを考えよ。
まず最初に終わりを考慮せよ」
(レオナルドダビンチ)

地域課題を
解決するための
地理空間
オープンデータを
用いたマーカーソン



2015年2月20日(金)終日@宮前区役所 2月21日(土)@終日@川崎市役所

主催：慶應義塾大学大学院 システムデザイン・マネジメント研究科

共催：国際大学グローバル・コミュニケーション・センター (GLOCOM)

株式会社フューチャーセッションズ



マーケティングの計画

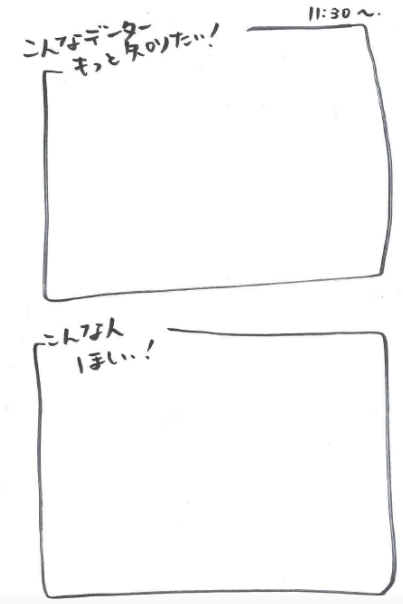
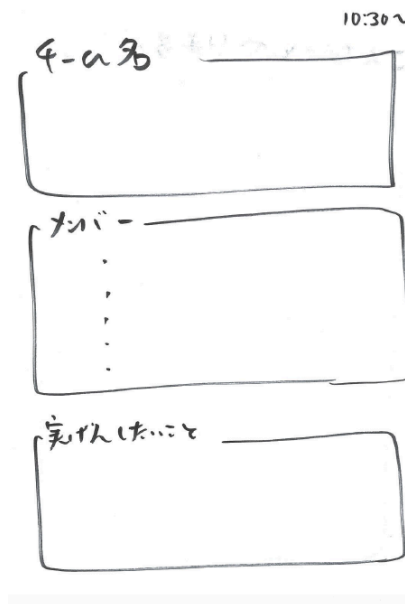
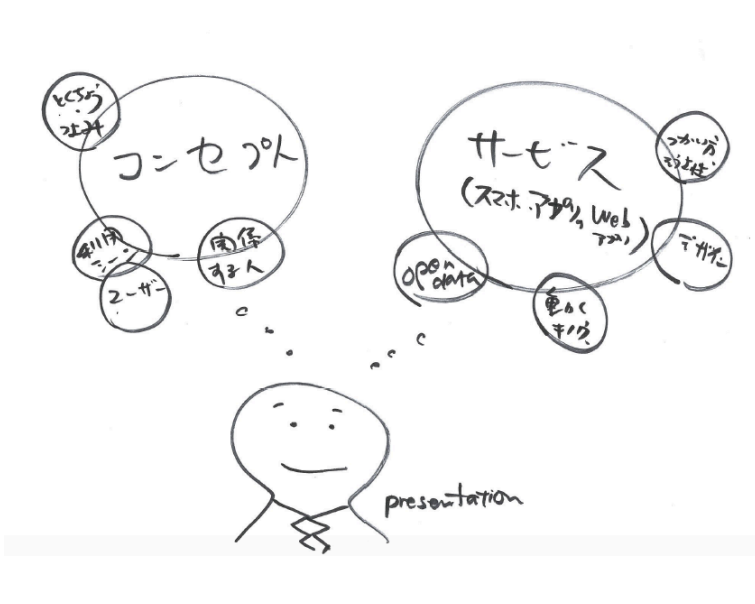
アプリケーション・サービス 実現のシナリオ

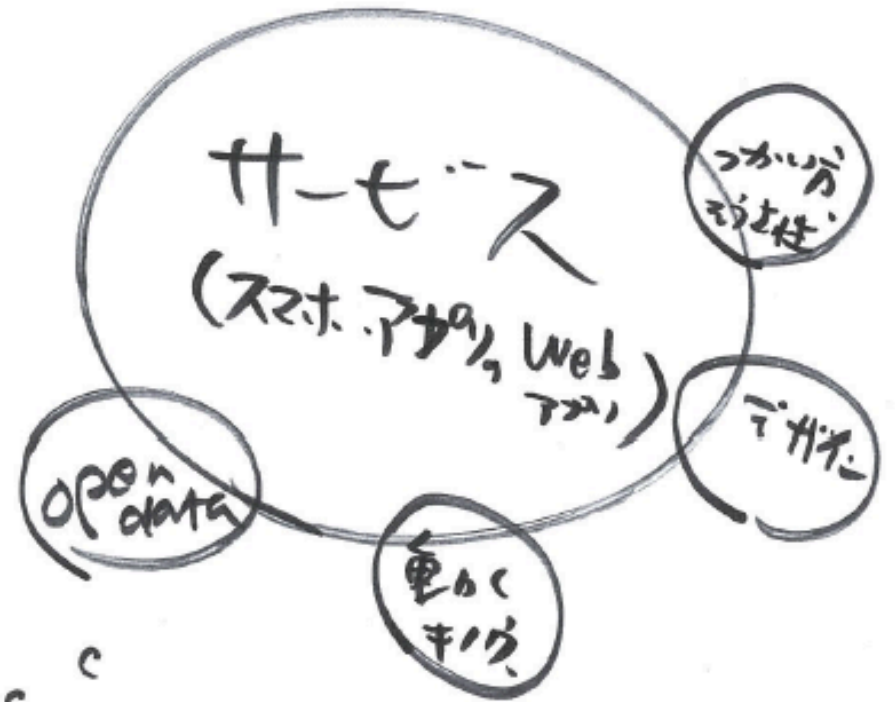
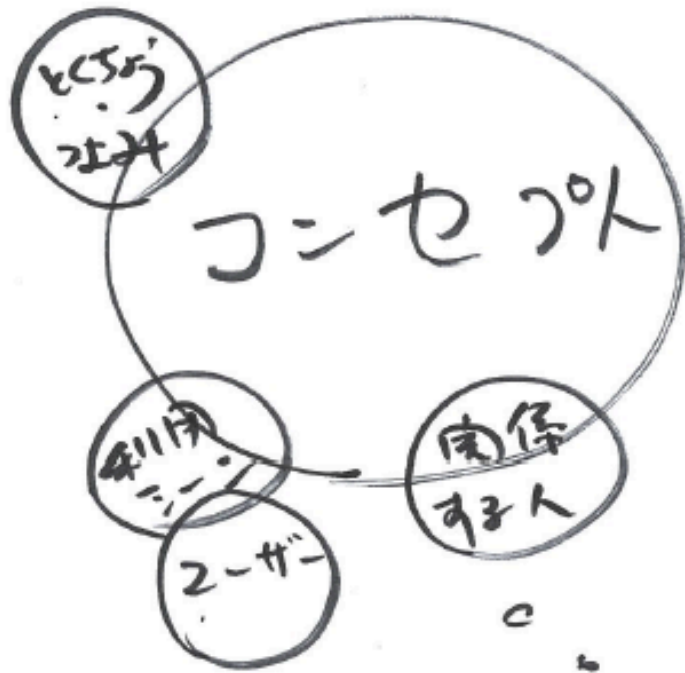
**アプリケーション・サービス
実現のために考えるべきこと**

復習：ハッカソンでのワークより

クイックプレゼン

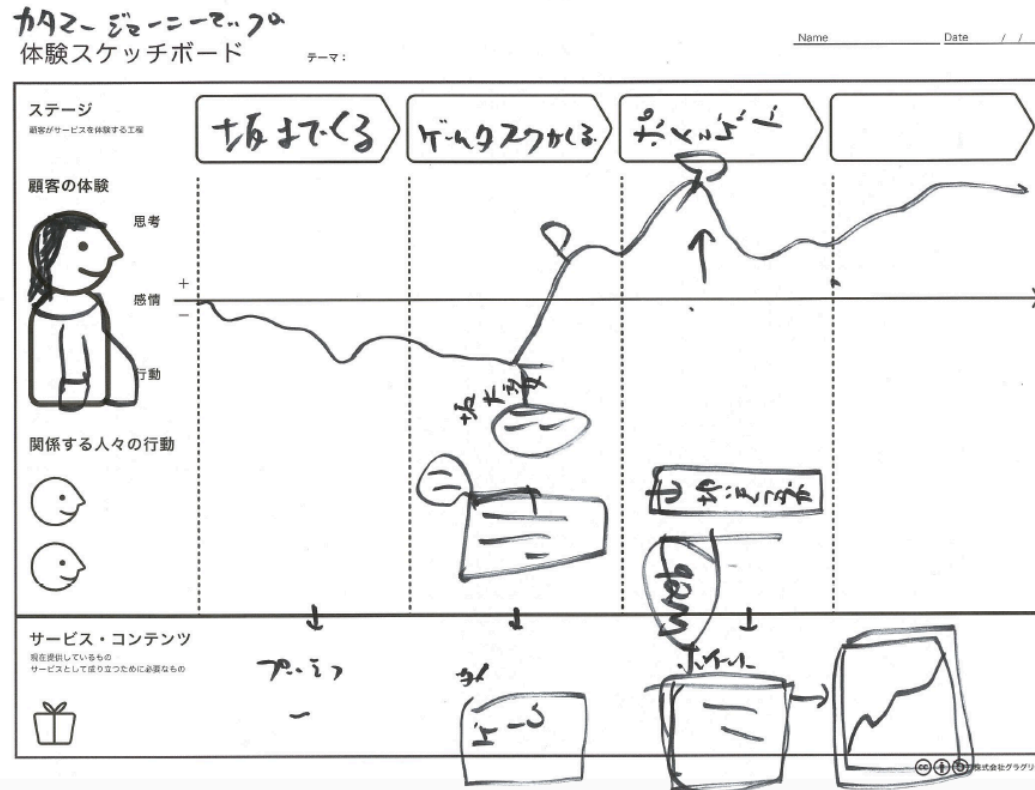
- 各チーム1分程度で！
 - こんなことに取り組みます！





体験スケッチボード

- 株式会社グラグリッド
- 三澤直加さん



アプリケーション・サービス実現のために考えるべきこと

- 「3つの道」のどの方向を目指すか？
- プロトタイプを使って誰に対して検証したいか？
 - マーケソン前・マーケソン時
- 誰に、どのように支援・連携を受けたいか？



主催者の方で
支援致します！

- スタートアップで考慮すべきこと
 - 対象課題（具体的に）は？
 - 対象ユーザは？カスタマーは？
 - ユーザ：サービスを利用する人
 - カスタマー：サービス受益者・資金の拠出責任がある人
 - オリジナリティのある価値は？
 - 主な機能は？
 - 顧客とのチャネルは？
 - 収益の流れは（収入）？
 - コスト構造は（支出）？
 - 成果の計測方法は？
 - コピーしにくい優位性は？

リーンスタートアップ



<http://www.imi.ie/news-and-events/wp-content/uploads/2011/11/01/Mi-Ash-Maurya-Running-Lean-Presentation.pdf>

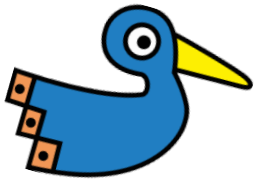
<http://blog.kentaro.org/entry/2012/12/24/181211>

**各チームのチャレンジ・課題の
共有：ワールドカフェ**

18:30-19:00 ワールドカフェ

- 皆さんが所属しているチームで仕上げているアプリケーション・サービスについて、その特徴やウリ、実用化のためのアイデア、課題、そして個々の意見を別のチーム、新しい参加者の方に伝えましょう。
- 対話によって、お互いを理解し、アイデアなどを教諭しましょう。
- プロセス
 1. 極力、ハッカソンチーム以外のメンバーで集まる
 2. テーブルホストを決め、そのホストのファシリテーションにより、各自1分程度話をする
 3. 10分後に、テーブルホスト以外は別のテーブルに分散する
 4. テーブルホストが、前のセッションの議論を新たなメンバーに伝えた上で、あらなたメンバーが各自1分程度話をする
 5. 2巡した後に、テーブルホストは、各テーブルでの話題や議論を全員にシェアする

<p>対象課題</p>	<p>所属チーム名</p>	<p>アプリケーション・サービスの 想定ユーザ</p>
<p>アプリケーション・サービスの 特徴・面白い点</p>	<p>ニックネーム (お名前)</p>	<p>アプリケーション・サービスの 想定カスタマー</p>
<p>アプリケーション・サービス実 用化の課題</p>	<p>趣味・得意技</p>	<p>これから会って みたい人、組織</p>



60 seconds

60

**マーケソンに向けたプラン、チ
ラシ作成：グループワーク**

19:00-19:30 プラン、チラシ作成

● 実用化を念頭に

- 実用化を念頭にしたマーケソンまでの計画を立てましょう
- 想定カスタマーに対するマーケソンへの参加を依頼、募集するためのチラシなどの告知資料を完成させましょう！（それを持って、市役所、区役所、主催者は想定カスタマーの方々に声をかけます）

● 主催者、市役所、区役所の方々にお声掛け下さい

- 相談に乗りますし、フォローアップしますので、適宜お声掛けください！

プラン、チラシ等のシェア 3分発表 + 2分議論

19:30-20:15 プラン、チラシ等のシェア

● 3分発表 + 2分Q&A

- サービス・アプリケーションの概要と現時点のステータス
- チラシ等のプロモーションコンテンツ
- マーケソン、そして、実用化に向けたプラン
 - マーケソン前、マーケソンでのフィールドワークの希望
- 相談したいこと！

全体討議・まとめ

SEE YOU SOON !